

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成 11 年法律第 117 号）第 8 条の規定により、金沢大学（角間 ）附属図書館等棟施設整備事業に係る事業者の選定に関する客観的な評価結果をここに公表する。

平成 15 年 8 月 11 日

金沢大学長 林 勇二郎

金沢大学（角間 ）附属図書館等棟施設整備事業

事業者選定結果

平成 15 年 8 月 11 日

## 1. 事業の概要

### (1) 事業名

金沢大学(角間 )附属図書館等棟施設整備事業(以下「本事業」という。)

### (2) 事業場所

石川県金沢市角間町 金沢大学構内

### (3) 事業目的

本事業は、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(平成11年法律第117号。以下「PFI法」という。)に基づき、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、もって大学の事務及び事業の円滑な運営に資することを目的とする。

### (4) 事業期間

事業契約締結の日から平成30年3月31日まで

### (5) 事業内容

本事業は、本事業を実施する者として選定されたPFI法第2条第5項に規定する選定事業者(以下「選定事業者」という。)が、金沢大学(角間 )附属図書館等棟及びこれに附帯する工作物その他施設(以下「本施設」という。)の設計及び建設を行った後、公共施設の管理者等である金沢大学(以下「大学」という。)に所有権を移転し、事業期間中に係る維持管理、及び一部の運営業務を遂行する方式(BTO(Build,Transfer,Operate))により実施するものである。大学は、金沢大学(角間 )附属図書館等棟の設計及び建設並びに維持管理業務に係る対価として選定事業者が費用を支払う。

選定事業者が実施する本事業の主な範囲は以下のとおりである。

#### 金沢大学(角間 )附属図書館等棟の設計及び建設

- ・ 本施設に係る設計(基本設計・実施設計)業務
- ・ 本施設に係る建設業務
- ・ 基礎等設計のための土質調査業務
- ・ 工事監理業務
- ・ 本施設の建設に伴う各種申請等の業務
- ・ その他これらを実施する上で必要な関連業務

#### 金沢大学(角間 )附属図書館等棟の運営及び維持管理

- ・ 本施設に係る維持管理業務
- ・ 清掃業務
- ・ 昇降機設備保守点検業務
- ・ 消防用設備保守点検業務
- ・ 空調・給水設備保守点検業務
- ・ 受変電設備・電力・通信設備保守点検業務
- ・ 建物(構造・仕上)保守点検業務
- ・ 自動化書架保守点検業務
- ・ 環境測定業務
- ・ 外構保守点検業務
- ・ 自家用電気工作物を設置する場合は、当該施設の保安業務
- ・ 廃棄物処理業務
- ・ 特別食堂の運営

## 2. 事業者の選定

### (1) 事業者の選定過程

本事業における落札者決定までの経過は、表1のとおりである。

表1 落札決定までの経過

スケジュール	内容
平成14年10月10日	実施方針の公表
平成14年10月21日～10月25日	実施方針に関する質問受付
平成14年10月21日～11月1日	実施方針に関する意見・提案受付
平成14年11月22日	実施方針に関する質問への回答公表
平成14年12月24日	要求水準書(案)の公表
平成15年1月14日～1月17日	要求水準書(案)に関する質問受付
平成15年1月21日	特定事業の選定結果の公表
平成15年2月14日	要求水準書(案)に関する質問への回答公表
平成15年2月28日	入札公告
平成15年3月5日	入札説明会・現地見学会
平成15年3月6日～3月12日	入札説明書等に関する質問受付
平成15年3月18日	入札説明書等に関する質問への回答(その1)公表
平成15年3月24日	入札説明書等に関する質問への回答(その2)公表
平成15年3月25日	入札説明書等に関する質問への回答(その3)公表
平成15年3月26日～3月28日	参加表明書等の受付
平成15年4月1日	入札説明書等の変更について 公表
平成15年4月2日～4月3日	入札説明書等の変更について に関する質問受付
平成15年4月4日	入札説明書等の変更について に関する質問への回答公表
平成15年4月4日	競争参加資格の審査結果の通知
平成15年5月14日～5月16日	入札提出書類の受付
平成15年5月16日	開札
平成15年7月10日	落札者の決定

## (2) 審査委員会の設置

平成 14 年 8 月 28 日、本事業における事業者選定のための審査に関して、学識経験者及び金沢大学職員で構成する「金沢大学附属図書館等棟 PFI 事業審査委員会」(以下「審査委員会」という。)を設置した。

審査委員は以下のとおり。

表 2 審査委員会 審査委員

	氏名	所属等
委員長	橋本 哲哉	金沢大学 経済学部 教授 総合移転実施特別委員会 委員長
委員	中村 信一	金沢大学 副学長 財務委員会 委員長
	和田 敬四郎	金沢大学 附属図書館長
	山本 啓	金沢大学 法学部 教授
	碓山 洋	金沢大学 経済学部 助教授
	石橋 弘行	金沢大学 薬学部 教授
	滝本 昭	金沢大学 工学部 教授
	敷田 麻実	金沢工業大学 環境系 環境情報・計画コア 教授
	中山 文夫	金沢大学 経理部 部長
前田 廣志	金沢大学 施設部 部長	

### 【審査委員の交替について】

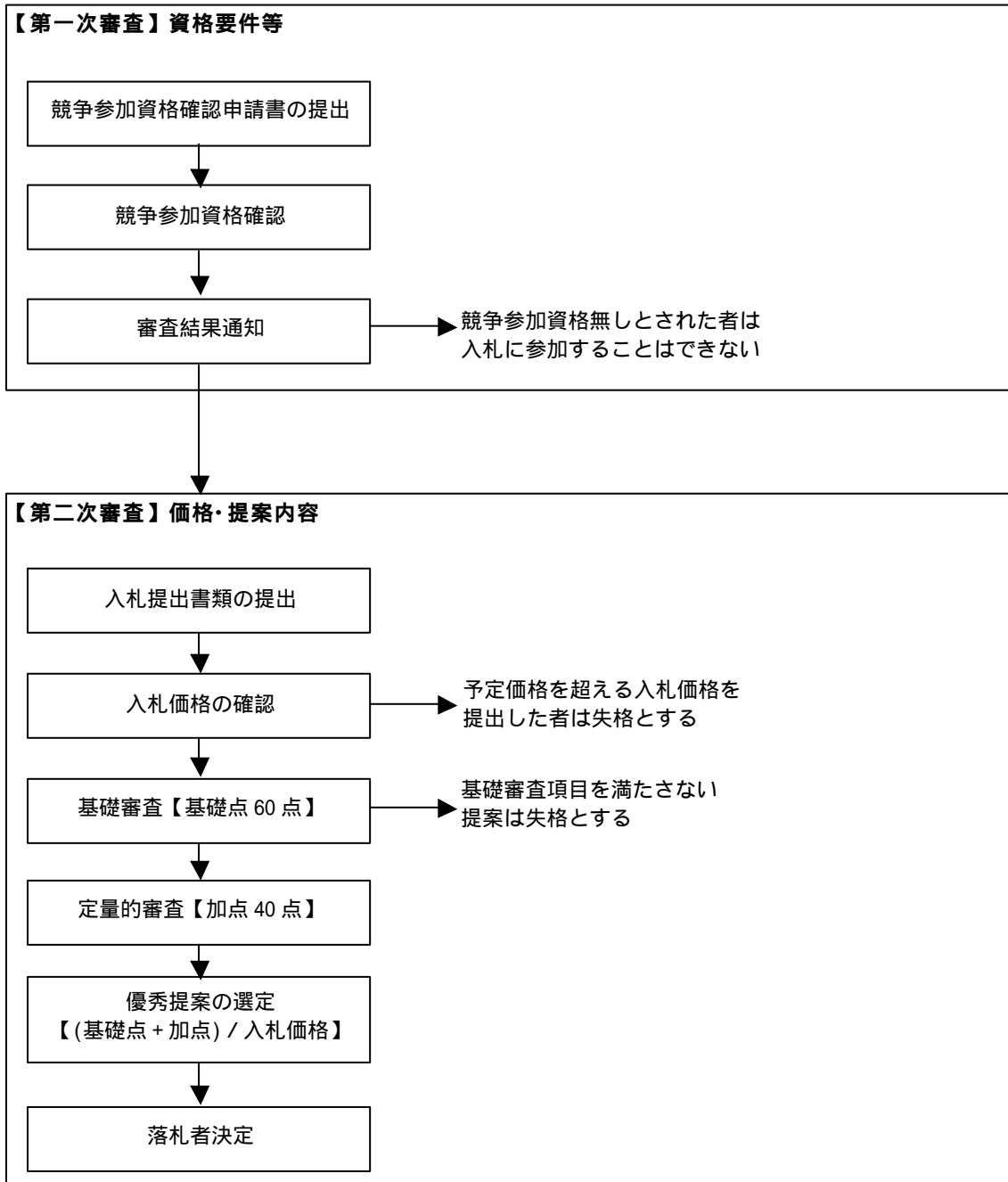
平成 15 年 4 月 1 日付人事異動に伴い、審査委員につき以下のとおり交替した。  
(同日付で公表。)

旧委員	新委員
山本 啓 (金沢大学 法学部 教授)	河村 和徳 (金沢大学 法学部 助教授)
中山 文夫 (金沢大学 経理部 部長)	入江 尊義 (金沢大学 経理部 部長)

### (3) 選定方法

事業者の選定に当たっては、入札価格及び提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用した。選定方法は以下に示すとおり、第一次審査(資格等要件審査)と第二次審査(価格・提案内容審査)の二段階に分けて実施した。

#### 審査のフロー



## 【第一次審査】資格要件等

第一次審査の競争参加資格確認については、次のとおり実施した。

本件事業への競争参加希望者は、入札説明書に掲げる競争参加資格確認を受けるため、参加表明書等を大学へ提出し、競争参加資格について審査を受ける。  
競争参加資格の審査結果は、競争参加資格確認を受けた者に対して通知する。

< 資格等要件審査の項目 >

- A 応募者の参加要件等
- B 参加表明書等の不備の有無
- C 予算決算及び会計令に関する要件
- D 会社更生法又は民事再生法に関する要件
- E 指名停止等に関する要件
- F 利益相反、重複参加に関する要件
- G 応募者の構成員等の資格等に関する要件
- H 各業務実績に関する要件

## 【第二次審査】価格・提案内容

### (1) 入札価格の確認

入札においては、応募者が入札書に記載した入札価格（事業期間を通じて大学が支払う対価の総額）が、大学の設定する予定価格の範囲内であることを確認した。入札価格が予定価格を超える場合は失格とし、次項以降の審査は行わないこととした。

### (2) 提案内容審査

#### 基礎審査

審査委員会において、応募者からの提出書の各様式に記載された内容が、以下の基礎審査項目を満たしているかどうかを審査した。基礎審査項目を満たしていない場合は失格とした。

「特別食堂に係る事項」については、応募者が特別食堂を提案した場合にのみ、基礎審査を行うこととした。従って、特別食堂を提案しなかったことによって「特別食堂に係る事項」に係る基礎点が付与されず失格になるものとはしなかった。

基礎審査項目を全て充足した提案については、基礎点として60点を付与することとした。基礎審査項目は表3のとおり。

表3 基礎審査項目と評価基準

基礎審査項目	基礎審査細目	評価基準
事業計画に係る事項		
事業計画全般	事業スケジュール	実現可能な事業スケジュールになっていること
長期収支計画	資金調達方法	資金調達先、調達額、調達条件(金利等)が明示されていること 金融機関からの借入については、関心表明書(LOI: Letter of Intent)が添付されていること
	資金回収 返済方法	設計及び建設に係る対価について、大学の支払が毎年度均等であること 実現可能な長期収支計画となっていること
事業費	算出根拠	各種発生費用の項目及び算出根拠に誤りがなく、市場価格と極端に乖離していないこと提出書類の計数の整合性がとれていること
施設整備計画に係る事項		
施設計画	施設計画の性能 仕様	要求水準書に示す性能 仕様のうち、主要な部分については同水準以上であること
	延床面積	9,330 m <sup>2</sup> 以上(面積増+2%以内) 上記面積にはサービスヤード、アカデミックホール等は含まない
	総合教育研究施設	1,360 m <sup>2</sup> (面積増減±2%以内)
	自然科学系図書館	5,340 m <sup>2</sup> (面積増減±2%以内)
	福利施設	2,080 m <sup>2</sup> (面積増減±2%以内)
維持管理計画に係る事項		
維持管理計画	維持管理業務の仕様	要求水準書に示す性能 仕様のうち、主要な部分については同水準以上であること
特別食堂に係る事項		
事業計画	事業計画の具体性	具体的な事業計画が示されていること
	福利施設としての適合性	大学における飲食提供施設として相応しいものであること



定量的審査

審査委員会において、表4に示す「事業計画に係る事項」、「施設整備計画に係る事項」、「維持管理計画に係る事項」、「特別食堂に係る事項」について審査した。各評価項目に対して優れた提案が行われている場合に、表5に示す加点付与基準に基づいて加点した。

表4 定量的審査の評価項目及び評価内容と配点

評価事項	評価項目	評価内容	配点
事業計画に係る事項			
	資金調達の妥当性	資金調達の安定性、確実性	3.0
	リスクへの対応	選定事業者が負担するリスクの管理方法やリスクが発生した際の対処方法等に関する考え方についての提案内容	2.0
	小計		5.0
施設整備計画に係る事項			
	周辺環境及び景観に配慮したデザイン性	デザイン(色彩、使用材料)、配置計画等 緑化(緑地確保等)による周辺景観保全 金沢の文化等の地域特性に配慮した施設計画(建物デザイン、材料選定等)に対する考え方と提案内容	3.0
	環境保全性 (環境負荷低減性)	解体材の再利用、現場発生材の削減、掘削土の削減についての考え方と具体的方策 リサイクル材、自然材料、再生可能材の積極利用についての考え方と具体的方策 断熱、日射遮蔽等による熱負荷抑制の具体的方策 自然通風、自然採光、雨水利用、太陽光発電等の自然エネルギー利用についての考え方と提案内容	3.0
	機能性	明快で使いやすい空間構成 明快で分かりやすい動線計画 物品搬出入等のサービス動線が整理され、利用者動線と交錯しない動線計画 避難計画や防災設備における合理的で安全な工夫 階段、スロープ、手摺、音声表示、サインの明瞭さ等、バリアフリー化への考え方と計画内容	5.0
	室内環境への配慮	窓の高さ、大きさ、採光面の数についての考え方と計画内容 良好な通風の確保及び設備技術利用による換気方法の提案内容 ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物(VOC)等の室内濃度低減策への配慮 効果的なリフレッシュスペースやロビー等の施設利用者同士の交流についての工夫 眺望に配慮した空間構成	4.0
	図書館の創造性	図書館利用者に対する快適な内部空間、インテリア計画を提供する空間の魅力 自然科学系図書館としての効果的な学習空間、閲覧空間、書架空間、休憩空間等のゾーニング計画 図書館施設に対する利用者、管理者、物品等の各種動線が整理され機能性に優れた動線計画 図書館24時間対応に配慮した死角のない共用空間や夜間無人時のセキュリティゾーニング等、防犯性の工夫 書籍の恒久的な保管に対する配慮	5.0
	経済性	建築材料及び設備機器の合理的耐久性など長期間使用した場合の耐用性及び間仕切り変更の容易性(フレキシビリティ)に関する考え方と計画内容 建築材料及び設備機器のメンテナンス容易性・更新容易性等、長期間利用した場合の安全性に関する考え方と計画内容	3.0

	施工計画	施工品質保証の具体的な方法	2.0
		期日までに竣工・引渡しを行うための工程・工法についての考え方	
小計			25.0
維持管理計画に係る事項			
	建物保守管理業務及び 設備保守管理業務	維持管理業務実施体制(昇降機、自動化書架、消防、給 水設備の保守点検業務実施体制等)	2.0
		業務内容の妥当性	
	清掃業務及び 廃棄物処理業務	維持管理業務実施体制	2.0
		業務内容の妥当性	
植栽・外構維持管理業務	維持管理業務実施体制	1.0	
	業務内容の妥当性		
小計			5.0
特別食堂に係る事項			
	提案の有無	特別食堂の提案の有無	1.0
	事業計画	事業内容	4.0
		実施体制 収支計画の妥当性	
小計			5.0
合計			40.0

表5 加点付与基準

評価	配点				
	5.0の場合	4.0の場合	3.0の場合	2.0の場合	1.0の場合
提案による効果が大きく期待できる	5.0	4.0	3.0	2.0	1.0
と の中間程度	3.75	3.0	2.25	1.5	0.75
提案による効果が期待できる	2.5	2.0	1.5	1.0	0.5
と の中間程度	1.25	1.0	0.75	0.5	0.25
提案による効果は期待できない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### (4) 事業者選定結果

##### 第一次審査

平成 15 年 3 月 26 日～3 月 27 日に参加表明書等の受付を行ったところ、表 6 のとおり 3 者からの提出があった。

競争参加希望者から提出された参加表明書等について競争参加資格の確認審査を行った結果、いずれの競争参加希望者も入札説明書に示した競争参加資格の要件を満たしていたことから、平成 15 年 4 月 4 日、各競争参加希望者に対して競争参加資格の確認を通知した。

表 6 参加表明書等提出者

No.	競争参加希望者	代表企業	構成員	協力会社
1	大成建設(株)グループ	大成建設(株)	(株)アベックス和光 北菱電興(株) 菱機工業(株) (株)文教コーポレーション 金剛(株) (株)レバスト	(株)山下設計
2	(株)大林組グループ	(株)大林組	三機工業(株) 北陸電気工事(株) 星光ビル管理(株)	日本ファイリング(株) (株)グリーンハウス (株)梓設計
3	松井建設(株)グループ	松井建設(株)	大木建設(株) (株)トーエネック 日立プラント建設(株) (株)教育施設研究所 (株)日立建設設計 (株)日立製作所 (株)日立ビルシステム 北陸総合ビル管理(株)	(株)日京クリエイト (株)総合設備計画 日本ファイリング(株)

##### 第二次審査

##### (a) 入札価格の確認

平成 15 年 5 月 14 日～5 月 16 日に入札提出書類の受付を行い、5 月 16 日、入札書を開札して入札価格を確認した。その結果、入札価格が予定価格の範囲内であった 2 者の入札提案書について審査委員会において審査を行うこととした。

No.	入札参加者名	入札価格確認結果
1	大成建設(株)グループ	予定価格の範囲内
2	(株)大林組グループ	予定価格を超えている
3	松井建設(株)グループ	予定価格の範囲内

##### (b) 提案内容審査

提案審査委員会において審査を行い、優秀提案者が選定された。

#### 落札者の決定

大学は、審査委員会による優秀提案者の選定結果の報告を受け、以下の者を落札者として決定した。

落札者名：大成建設(株)を代表企業とするグループ

落札金額：3,443,277,850 円

(注) 消費税及び地方消費税相当額を含む。

VFM 22.4%

(国税収入の加味及び現在価値への換算等の調整を行い、従来方式での支出と比較して算出した。)

金沢大学（角間 ）附属図書館等棟施設整備事業

審 査 講 評

金沢大学(角間 )附属図書館等棟

PFI 事業審査委員会

## 1. 審査結果

### (1) 第一次審査（資格要件等）

第一次審査における競争参加資格確認審査については、参加表明書等を提出した3者すべてが競争参加資格があるものと確認された。

### (2) 第二次審査（価格・提案内容）

#### 基礎審査【基礎点 60 点】

審査委員会において、入札価格が予定価格の範囲内である入札参加者2者の提案内容が要求水準の基礎審査項目を満たしているかどうかを審査した。その結果、2者の提案内容が要求水準の基礎審査項目を全て満たしていることが確認できたため、それぞれに基礎点として60点を付与した。

#### 定量的審査【加点 40 点】

審査委員会において、「事業計画に係る事項」、「施設整備計画に係る事項」、「維持管理計画に係る事項」について審査し、各評価項目に対して優れた提案が行われている場合に、加点付与基準に基づいて得点を付与した。

表7 定量的審査 審査結果

評価事項	評価項目	配点	大成建設(株) グループ	松井建設(株) グループ
事業計画に係る事項				
	資金調達の妥当性	3.0	1.50	0.75
	リスクへの対応	2.0	1.00	0.50
	小計	5.0	2.50	1.25
施設整備計画に係る事項				
	周辺環境及び景観に配慮したデザイン性	3.0	1.50	1.50
	環境保全性（環境負荷低減性）	3.0	2.25	1.50
	機能性	5.0	2.50	3.75
	室内環境への配慮	4.0	3.00	2.00
	図書館の創造性	5.0	2.50	2.50
	経済性	3.0	0.75	0.75
	施工計画	2.0	0.00	0.00
	小計	25.0	12.50	12.00
維持管理計画に係る事項				
	建物保守管理業務及び設備保守管理業務	2.0	0.50	0.50
	清掃業務及び廃棄物処理業務	2.0	0.50	1.00
	植栽 外構維持管理業務	1.0	0.50	0.25
	小計	5.0	1.50	1.75
特別食堂に係る事項				
	提案の有無	1.0	1.00	1.00
	事業計画	4.0	3.00	2.00
	小計	5.0	4.00	3.00
	定量的審査 合計	40.0	20.50	18.00

(3) 総合評価

基礎審査項目で付与した基礎点と定量的審査項目で付与した加点との合計点を入札価格で除した値（以下「総合評価値」という）を比較し、総合評価値の高い大成建設グループを優秀提案者として選定した。

表8 審査結果一覧表

	大成建設(株)グループ	松井建設(株)グループ
基礎点	60.0	60.0
加 点	20.5	18.0
得点合計〔A〕	80.5	78.0
入札価格〔B〕（円）	3,292,146,000	3,595,382,000
総合評価値 〔(A / B) × 10 <sup>9</sup> 〕	24.45	21.69
順 位	1	2

## 2. 審査講評

本事業は、金沢大学（角間）附属図書館等棟の施設整備、維持管理及び特別食堂の運営を行うものである。

第二次審査には第一次審査を通過した3者から提案が得られた。審査委員会ではこのうち入札価格が予定価格の範囲内であった2者の提案について審査を行うこととなったが、いずれの提案も施設の特徴を十分に踏まえ、大学の意図を理解した水準の高い内容であった。

本入札に参加していただいた入札参加者の皆様方には心より感謝申し上げます。

以下は、定量審査項目における各入札参加者の評価である。

### (1) 事業計画に係る事項

#### 【資金調達の妥当性】

金融機関からの資金調達に関して、大成建設グループ、松井建設グループのいずれもプロジェクトファイナンスによる借入金を想定し、事業期間を通じて金利を固定することで安定性、確実性を確保すると提案としていた点が評価された。また、大成建設グループについては金融機関からの資金調達の条件や代表企業による劣後ローン枠の設定などに関して具体的な提案していた点が評価された。

#### 【リスクへの対応】

リスクへの対応に関して、大成建設グループ、松井建設グループともにリスク分担を明確化し、SPCの内部留保または余剰金の確保により資金不足を回避する等の提案がなされている点が評価された。大成建設グループについては、付保が義務付けられている保険に加え、想定されるリスクを極力低減するために適切な保険を追加で付保する、として具体的に提案している点が評価された。

このほか、大成建設グループは各業務を担当する全ての企業が協力会社ではなく構成員として出資したうえで参加する点が評価された。

### (2) 施設整備計画に係る事項

#### 【周辺環境及び景観に配慮したデザイン性】

配置計画及びデザイン性については、各入札参加者の提案とも、角間キャンパスの一部としての本施設の位置付けと金沢の地域特性に配慮した効果的な提案と評価された。特に大成建設グループの提案は、人々を導くデザイン等の細やかな提案と、アカデミックテラスを最上階に設けることで降雪の多い金沢の冬季に開放性を確保する計画が優れた提案と評価された。また、松井建設グループの提案は、建物北面を全面ガラススクリーンとして周辺の自然を映し出す現代的なデザインの提案と、金沢の伝統文化をモチーフとしたデザインや色彩計画における具体的な方策が複数提案されており、優れた提案と評価された。

#### 【環境保全性】

環境保全性については、大成建設グループの提案は、全般的に多くの具体的な提案がなされており評価された。特に、自然エネルギーの利用については、開閉式換気パネル、圧力式開閉窓などが環境面に配慮した創意工夫に富んだ提案であり、自然エネルギーの有効利用が定量的評価のポイントとなった。



#### 【機能性】

機能性については、各入札参加者の提案とも、熟考された提案内容であった。大成建設グループの提案は、空間構成、動線計画の面で特別食堂とアカデミックテラスを最上階に配置した計画を軸に、コミュニケーションスペースと利用者の動線を積極的に促す計画が全体計画で随所に提案され、その独自の本施設の活性化策が高く評価された。また、松井建設グループの提案は、機能性の全ての評価内容に対して、全体計画を十分に理解した上で多面的かつ適切な方策が提案され、まとまりのある高水準な提案として評価された。特に、直接一筆書きで図書館等主要な施設へ導ける動線計画、小荷物専用昇降機を提案することで利用者動線と明確に分離したサービス動線計画等、効果的で優れた提案と評価された。

#### 【室内環境への配慮】

室内環境への配慮については、大成建設グループの提案は、自然通風及び自然換気に対する具体的かつ効果的な提案が評価された。特に特別食堂を最上階に配置し、北面に広く面することで眺望に配慮した計画は、優れた提案として評価された。また、松井建設グループの提案は、学生食堂のパソコン対応による学生の交流やブリッジ部分のたまり空間の提案など、リフレッシュスペースに対する効果的な提案が評価された。

#### 【図書館の創造性】

図書館の創造性については、各入札参加者の提案とも、それぞれの全体提案の趣旨に即した独自性のある提案で、かつ自然科学系図書館としての効果的な空間構成の位置付けとゾーニングの優れた提案が評価された。また、書籍の恒久的な保管として、自動化書架に対してもそれぞれの独自性のある提案がなされた。特に、大成建設グループの提案は、アカデミックテラスのダブルガラスの採用など遮音性に対する配慮等が評価され、松井建設グループの提案は、管理ゾーンの適切な配置計画により利用向上を図る提案等が評価された。

#### 【経済性】

経済性については、各入札参加者の提案とも、長期間の使用に対する耐久性、間仕切り変更やメンテナンスに対する容易性に関する提案があった。大成建設グループの提案は、タイル打ち込み PC 版の採用、床ハーフ PC の採用等の提案が評価され、松井建設グループの提案は、光触媒等の汚れ対策や設備監視の一元化が評価された。

#### 【施工計画】

施工計画については、各入札参加者の提案とも、基礎的審査項目内の提案であり、定量的評価の加点項目とならなかった。

### (3)維持管理計画に係る事項

#### 【建物保守管理業務及び設備保守管理業務】

建物保守管理業務及び設備保守管理業務については、各入札参加者の提案とも、実施体制と業務内容の両方で具体的な提案がなされ、常駐管理者の設置、自動化書架への対応など効果的な提案が評価された。

**【清掃業務及び廃棄物処理業務】**

清掃業務及び廃棄物処理業務については、各入札参加者の提案とも、実施体制と業務内容の両方で具体的な提案がなされていた。特に、松井建設グループの提案は、清掃に対する運営体制と廃棄物に対する集許可運搬業者による毎日収集が効果的と高く評価された。

**【植栽・外構維持管理業務】**

植栽・外構維持管理業務については、大成建設グループの案は、実施体制と業務内容の両方で具体的な提案がなされていた。特に、業務内容について刈り込みの頻度と除雪を適宜行う点が高く評価された。

**(4) 特別食堂に係る事項**

**【提案の有無】**

特別食堂に関する提案は必須項目ではなく任意の項目であったが、大成建設グループ、松井建設グループともに具体的な提案がなされており、各入札参加者とも評価された。

**【事業計画】**

事業内容及び衛生面に考慮した施設計画等についても、それぞれ工夫をこらした提案がなされており、各入札参加者はともに評価された。

大成建設グループについては、これに加えて、環境保全への取り組み（洗剤の厳選、無洗米の使用、食品リサイクル）、食材のトレーサビリティの確保、非常時のバックアップ体制等について具体的な提案がなされていたことが評価された。

**(5) 総評**

以上の評価の結果、基礎審査項目による基礎点及び定量的審査項目による加点とを合計した評価得点は、大成建設グループ 80.5 点、松井建設グループ 78.0 点となった。

その後、審査において付した評価得点を入札価格で除すことにより総合評価を行った結果、評価得点が高く入札価格の低い大成建設グループが総合評価値において順位 1 位となった。

なお、審査の過程で各委員から、本施設の地域特性を踏まえた除雪等の冬季対策、24 時間利用図書館の特性を踏まえた利用人数の少ない夜間等の省エネルギー対策などについて、十分な配慮が必要であるとの意見が出された。

以上